

東大和市地球温暖化対策実行計画（事務事業） 令和7年度の年間まとめ

令和7年3月に策定した「東大和市地球温暖化対策実行計画」では、市域全体の温室効果ガスの排出量削減に向けた取組について示しています。

このうち、市役所の業務によって排出される温室効果ガスについても排出量削減を図るため、全庁的に調査を実施し、様々な取組状況の把握に努めています。

年間の温室効果ガスの排出量は、各施設での燃料使用量や各課での自動車の使用状況から算出しました。また省エネ型設備機器の導入状況や、環境に配慮された物品の購入状況等から、環境に配慮した行動の実践状況をまとめました。

令和7年度の削減目標、及び削減実績は以下のとおりです。

1 温室効果ガス削減目標

基準値（H25 年度）	令和7年度目標値	基準値からの削減量
4,376,468 kg-CO ₂	4,004,260 kg-CO ₂	372,208 kg-CO ₂ (H25 年度から 9.3%削減)

実行計画期間（R7 年度～R12 年度）目標

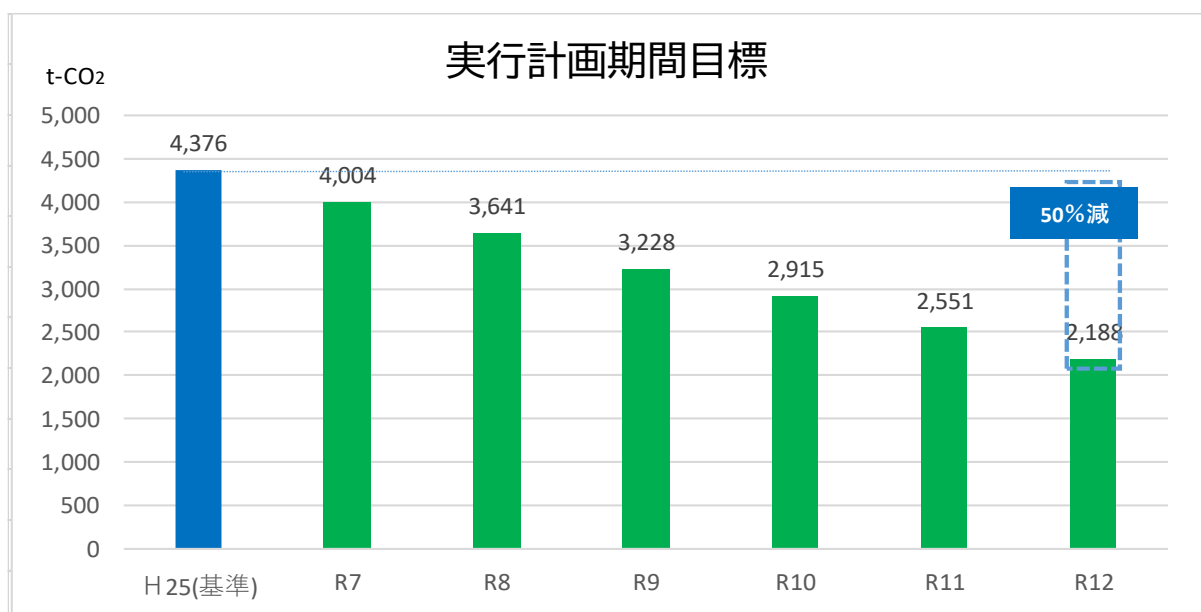
2,188,234kg-CO₂（△2,179,232kgCO₂）
※年 8.3%以上削減

目標

2030 年度までに基準年度比 **50%削減**

長期目標

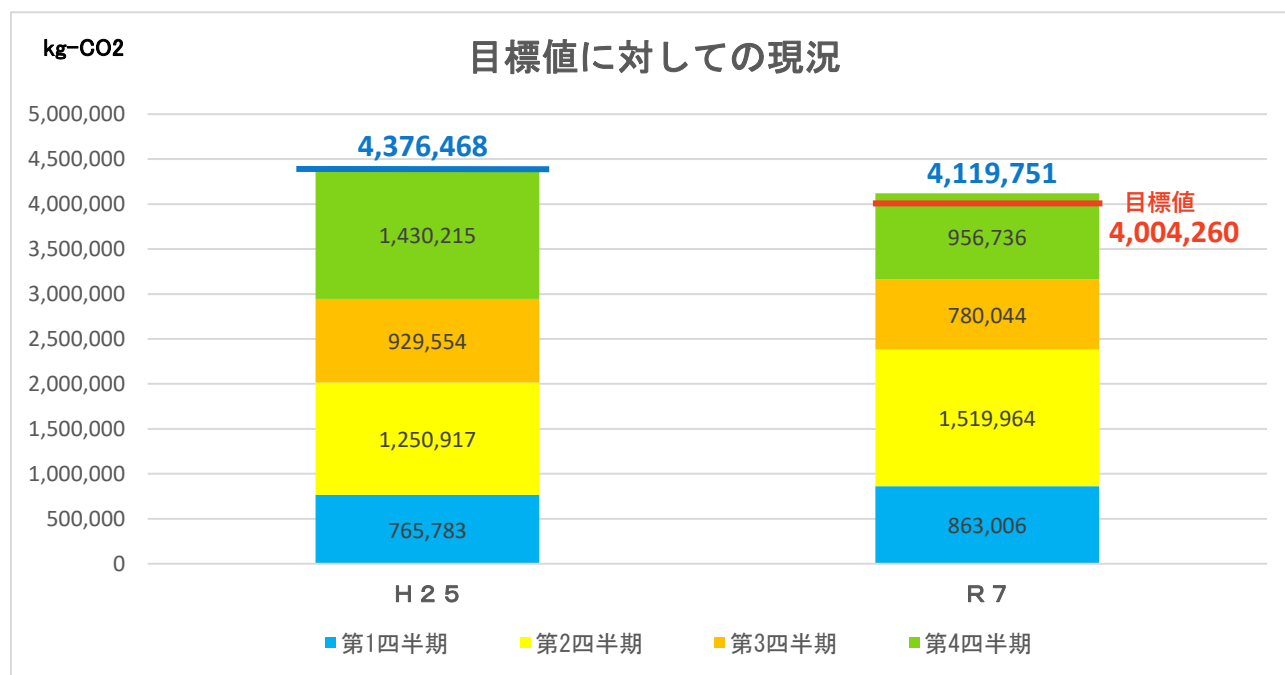
2050 年度までに排出量**実質ゼロ**



2 温室効果ガス排出量(令和7年度実績)

市の業務による令和7年度の温室効果ガス排出量は **4,119,751kg-CO₂** で、基準年度（平成25年度）から5.9%の減少にとどまってしまう、削減目標値を達成することはできず、目標値を3.4%超過してしまいました。（kg-CO₂）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
H25年度排出量	765,783	1,250,917	929,554	1,430,215	4,376,468
R7年度排出量	863,006	1,519,964	780,044	956,736	4,119,751
H25—R7（差）	97,223	269,047	△149,510	△473,479	△256,717



3 燃料別温室効果ガス排出量

基準年度に対し、排出量はおおむね減少傾向にありますが、LPGと都市ガスは排出量が増加しています。どの時期も都市ガスの割合が顕著に増加しているのは、近年公共施設への導入が進むガス空調機の影響が考えられます。（kg-CO₂）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	R7	H25	R7	H25	R7	H25	R7	H25
電気	614,408	597,523	949,778	928,332	356,152	659,750	373,080	733,913
灯油	0	250	0	0	19,848	20,567	43,633	85,242
A重油	0	32,516	0	32,516	24,929	65,031	85,353	315,997
LPG	22,201	7,251	96,536	14,563	29,816	10,617	50,139	12,913
都市ガス	217,244	111,774	462,098	257,951	338,831	153,431	395,349	262,925
ガソリン	7,519	12,672	8,654	13,911	8,413	15,270	6,945	12,824
軽油	1,433	3,147	2,694	2,995	2,562	4,252	2,021	4,634

※自動車の走行によって排出されるメタン、一酸化二窒素、及びカーエアコンを起因とするハイドロフルオロカーボンについては、燃料の使用による直接的な排出ではないため、上記には含めていない。

《カーボンニュートラルＬＰガスについて》

(株)尾崎商店と締結した「カーボンニュートラルＬＰガスの供給に係る協定」に基づき、令和７年８月１日から３月３１日までに学校などに供給されたＬＰガスは全て「カーボンニュートラルＬＰガス」となっています。

このＬＰガスは、国への報告上は排出量ゼロとして回答できない種類のもの(※１)となっていますが、ＬＰガスのライフサイクル（採掘から輸送、燃焼まで）で発生するＣＯ２に対して、森林保護や再エネ導入等によるカーボנקレジットで相殺しており、地球環境の改善や脱炭素社会の実現に貢献しています。

※１ ボランタリークレジット

*参考 カーボンニュートラルＬＰガスの使用量・排出量

期間	ＬＰガス使用量	温室効果ガス排出量	市の事務事業のＣＯ２総排出量に占める割合
令和７年８月～令和８年３月	１９，８７５ｍ³	１３０，３４２kg-CO2	３．２％

4 職員の環境配慮行動への取組状況

<施設の設備・備品の管理・改修・更新>

項 目	７年度の実施実績
照明器具のＬＥＤ化	５２．１％ ※
エコな電気メニューでの供給契約	実質再エネ１００％電力の導入
庁用車のＥＶ化	２台
施設設備改修での省エネ化	学校、本庁舎、市民センター等

※LED化については、対象設備の数量が不明確な部署があるため、参考数値。

市の公共施設に設置されている照明器具のうち、半分以上を令和７年度中にＬＥＤ化することができました。庁用車のＥＶ化や施設設備の省エネ改修など、まとまった予算を必要とするため、１年で多数の実績ができるわけではありませんが、少しずつ進めています。

<単価契約品のグリーン購入>

単価購入数	うちグリーン購入適合品	適合率
８，５８３個	４，１４１個	４８．２％

単価契約品（主に文具類）の購入実績は、実績が不明確な部署もあるため、参考数値となります。令和６年度比で６％以上の減となっており、単価契約品におけるグリーン適合率の向上や、各部署のグリーン購入への意識向上などについて検討を進めていきます。

＜日々の環境配慮行動＞

不要箇所の消灯やクールビズ・ウォームビズ、ごみの分別や持ち帰りなど、個人で実行できることの実施率は比較的高く、意識の高さが窺えます。一方で、課としての取組項目が少ない部署も散見され、環境問題は他人事と傍観する態度も垣間見えます。

